

## CONTENTS



### 特集

#### 嚥下動態解析の最前線

Editorial .....	唐帆健浩	6
多チャンネル表面筋電図を用いた新しい嚥下機能評価法 .....	佐々木 誠	8
嚥下の筋骨格モデル .....	橋本卓弥	15
動態力学シミュレーションによる嚥下機能の解析 .....	道脇幸博	21
高解像度マンOMETRY—嚥下圧検査の意義を中心に .....	熊井良彦	28
嚥下 CT—3D-CT による嚥下動態解析 .....	稲本陽子	35


#### ●私の治療方針

##### 食道癌術後の嚥下障害

症例提示  .....	二藤隆春, 杉本真美	42
耳鼻咽喉科医の立場から .....	熊井良彦	43
言語聴覚士の立場から .....	平田 文	47
実際に行った治療と経過  .....	二藤隆春, 杉本真美	50

#### ●書評

『誤嚥性肺炎 ただいま回診中!』 .....	河野仁寿	52
『摂食・嚥下障害の意思決定支援』治療 Vol.102 No.7【特集】 .....	岡本圭史	52

●1枚の写真  .....	大野友久, 他	53
--	---------	----




## New! 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行期における嚥下障害診療への注意喚起

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止には各方面より様々な対策が講じられているが、残念ながら収束の兆しは未だ見えていない。このウイルスは主として飛沫・接触によって伝播するとされ、感染者の体内でもウイルス量が多いのは鼻腔・咽頭（上気道）である。また、エアロゾルを介した感染も報告されている。嚥下障害診療において、上気道粘膜との接触を伴う嚥下訓練や喀痰吸引、内視鏡下嚥下機能検査などの医療行為は咳嗽などの気道防御反射を誘発し、感染リスクの最も高いエアロゾル発生手技に相当する。

日本嚥下医学会は、COVID-19 流行が生じている地域では、嚥下障害診療に携わるすべての医療者が、診療行為に応じた感染リスクに対して最大限に注意を払い、感染経路別予防策を適正に遵守することを推奨する。

日本嚥下医学会（令和2年11月20日改訂）

### 原著 論文

- 咽頭期治療に変更して改善した食道癌術後嚥下障害の1例  ..... 金田将治, 他 55
- 嚥下機能改善手術後に視覚フィードバックを用いた嚥下訓練が有効であった混合性喉頭麻痺の2例 ..... 児玉成博, 他 60
- 嚥下機能改善手術が奏効した海外在住の放射線治療後重度嚥下障害症例  ..... 杉山庸一郎, 他 69
- 術後十分な満足が得られなかった誤嚥防止手術例 ..... 石永 一, 他 77
- 凍らせたとろみ水による咀嚼と嚥下訓練が有効であった2症例  ..... 岡本圭史, 他 82
- 薬物咽喉頭残留症例への対応 ..... 宮田恵里, 他 88
- 訪問診療利用者の肺炎発症に寄与する因子についての検討 ..... 木村翔一, 他 96

会告—— 1

日本嚥下医学会嚥下機能評価研修会のご案内—— 1

動画サイトのご案内—— 4

第45回日本嚥下医学会 総会 学術講演会プログラム集—— 106

日本嚥下医学会の認定する嚥下相談医、嚥下相談員制度について—— 115

投稿規定—— 117

バックナンバー—— 122

日本嚥下医学会入会申込書—— 124

日本嚥下医学会変更届—— 125

購読申込書—— 126

 : 動画配信付き